

授業科目	国際経済入門				単位	2		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	TO21501J		
開講年次	2・3・4年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-3 DP2-1 DP3-1			
担当教員	須藤 秀夫							
授業概要	<p>モノ・サービス、カネ、ヒト、情報の国境を超えるやりとりという国際経済の諸問題—国際貿易、外国為替、国際金融と金融危機、地域協力、貧困問題など—の理解を通して、今日のグローバル経済と日本経済の現状・今後といった事柄を議論する。</p> <p>下の授業計画の流れで基本的な事項を扱うが、各事項に関連した現実の世界や日本の動き等を新聞報道などから随時紹介し解説する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際貿易の役割、国際収支の読み方、貿易政策・自由貿易協定(FTA 並びに日本の EPA)をめぐる問題を説明できる。</li> <li>2. 外国為替相場を決定する要因、相場の変動が国内経済に与える影響を説明できる。</li> <li>3. 通貨危機・金融危機がどのように発生するのか、日本にどのような影響を与えるのか説明できる。</li> <li>4. 途上国の貧困問題はどのような状況か、国際協力はどのようにあるべきかを説明できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	70	0	20	0	0	10	100	
知識・理解 (DP1-1)			5				5	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)	50		5				55	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10		5				15	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	10		5			10	25	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
国際経済に関する基本的な知識をよく理解し、日本経済やグローバルな現実の様々な問題を考えるときに考え方を説明し、応用することができる。国際経済に関する新聞などの報道を十分理解することができる。				国際経済に関する基本的な知識を身に付け、それを人に説明することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	国際経済を学ぶ意味を述べた後、国際貿易の必要性、役割について解説する。	講義	該当部分の復習	60
2	国際貿易がどのように一国の経済成長につながるのか等。	講義 質問・感想票にて質問等を受ける。	該当部分の予習、復習	60
3	外国為替市場での外国為替取引はどのような仕組みで為されているのか。	質問に答える。 講義	該当部分の予習、復習	60
4	外国為替相場はどのような要因によって決定され、また変動するのか。	講義 質問感想票にて質問等を受ける。	該当部分の予習、復習	60
5	外国為替相場の変動は一国の国内経済や輸出入業者にどのように影響するのか。	質問に答える。 講義	該当部分の予習、復習	60
6	国際収支表をどのように読むのか、国際収支項目の動向・変動は日本経済にどのように影響するのか。	講義 質問感想票にて質問などを受ける。	該当部分の予習、復習	60
7	貿易政策はどのような目的で実施され、どのような政策手段があるのか。	質問に答える。 講義	該当部分の予習、復習	60
8	自由貿易協定・自由貿易地域(FTA)とはどのようなものか、日本の自由貿易協定(EPA)にはどのようなメリット、デメリットがあるのか。	講義 課題を提示する。 質問感想票にて質問等を受ける。	該当部分の予習、復習。 課題に取り組む。	60
9	自由貿易協定・地域の代表例であるEUと統一通貨ユーロは現状どうなっているのか、どのような問題があるのか。	質問に答える。 講義	該当部分の予習、復習。 提出課題に取り組む。	60
10	国際金融について、世界をめぐるマネー(短期資金)がどのように行き場を広げてきたのか、どのような影響を与えてきたのか。	講義 質問感想票にて質問等を受ける。	該当部分の予習、復習	60
11	国際金融の問題として、しばしば世界経済を揺るがす通貨危機・金融危機(例:リーマン・ショック)を採り上げ、なぜ発生したのか、どのような影響を日本や世界に及ぼしてきたのか、解説する。	質問に答える。 講義	該当部分の予習、復習	60
12	途上国の貧困問題を採り上げ、現状どのようになっているのか、なぜ貧しいままの国・地域があるのか、世界での取り組みはどうなっているのか、解説する。	講義 質問・感想票にて質問等を受ける。	該当部分の予習、復習	60
13	引き続き途上国の貧困問題を採り上げ、先進国からの国際協力(ODA等)はどのようになっているのか、どうあるべきか等、解説する。	質問に答える。 講義	該当部分の予習、復習	60
14	世界経済において引き続き主導的役割を果たしている米国経済を採り上げ、なぜ世界経済にとって重要か、現状と問題点は何か、解説する。時間の都合によっては、中国経済について若干採り上げたい。	講義 質問・感想票にて質問を受ける。	該当部分の予習、復習	60
15	まとめ	質問に答える。 講義	全体的な復習	60
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	ドル高円安・ドル安円高、トランプ米国大統領の経済政策(貿易政策)など、ニュースで見たり聞いたりした事について、どういことだろう、知りたいといった関心があれば、勉強に取りかかりやすく思え、また、学びを深めてもらえるでしょう。			
テキスト	指定なし。 プリントを配付する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	プリントの中などで随時指摘する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	現在の日本経済や学生の就職環境にも影響する国際経済(または、グローバル経済)への関心をぜひ高めてほしい。そのためには、現実の国際経済の動きを報じる新聞、雑誌を読んだり、TV番組などを見たりしてほしい。			
達成度評価に関するコメント	レポートの内容については、授業の中で指示します。			